

7月支部役員会議 議事録

20130717

議事録作成者：薛松濤

出席者：

事務局＝若井、許、小地沢、佐藤（慎）笹渕、姥浦、佐藤（大）薛、伊藤／瀧（事務局）

SKYPE＝陳、渡辺、カルロス

1. 前回議事録確認

薛による前回の議事録の説明があり、特に指摘事項がありませんでした。

2. 報告事項

- 1) 6月25日に行った本部理事会の報告、若井支部長より報告がありました。

本支部の吉野先生が会長となり、挨拶がありました。常置委員会と各理事との対応表がありました。役員分担の細かい資料が添付されています。本部に出張の際、旅費の領収書を添付する義務と決められました。来年度の役員（本部と支部の双方）選挙が電子投票となり、暫くは電子投票と葉書兼用になっています。2014年3月11日（火）東日本大震災の3周年シンポジウムについての報告がありました。会費長期滞納者を、除名ではなく、会員資格喪失と称することとされました。

- 2) 5月11日行われました総会の議事録について薛により報告されました。特に指摘がありませんでした。

- 3) 震災災害報告及び報告書について

比較的順序に売れていますので、残り5、6冊となり、増刷するかどうかを、新しい議題としてあげることとなりました。

- 4) 4月、5月6月の会計報告事務局よりより説明がありました。通常通りではありますが、5月の表彰関係で支出が多くなることがありました。

- 5) 「みちのくの風 2013 岩手」の開催報告についての薛より報告されました。特に問題ありません。

- 6) 作品選集 2014 東北支部リスト、全部で、16の応募（現地審査4作品）があり、本部には、8作品を推薦することになっています。これからの作業となります。

- 7) 共催依頼2件がありました。住まいと環境東北フォーラムについての依頼及びJIA東北住宅大賞の依頼があり、本日の会議の前に、メールで承認されています。

- 8) 支部企画費交付の申請（東北工業大学）がありましたが、結果は残念でした。

- 9) 日本建築学会設計競技東北支部への応募、15作品がありました。審査はこれからです。

- 10) 5月25日、26日、和田前会長の被災地視察についてのご報告がありました。

3. 審議事項

- 1) 2014 みちのくの風の開催、6月21日(土)、22日(日)(会長のご都合に決定)と決定されました。場所の福島県内となっておりますが、未定です。日大で行うことなどこれから議論します。
- 2) 支部の検討課題について事務局よりありました。
 - ア：若手の活躍場としたいのですが、他支部の活躍の一覧があり、これを参考しながら本支部での方針を決めたいと思います。支部発表会で、学生ポスター賞を導入するかどうかの提案があり、これからの議題としたい。
 - イ：東北建築賞の募集の相談があり、具体的には、建物の所在地が異なりますが、同じプロジェクトです。同じものとして扱いでよろしいかどうかについて。かなりの議論がありました。規定があるなら、緩みのないものとしたルールを守りたい。その結論として：プロジェクトを審査するのではなく、建築を審査するので、同じプロジェクトの異なる建築は異なる作品としてみることで一致しました。そして、仮設も建築物なので、支部として対象内であると考えます。
 - ウ：災害調査基金が150万円が3万円に減少していますので、これから増やさなければなりません。今年の収支を鑑ながら11月予算を立てる時に、一部の収入を災害調査基金に組みたいと思います。
- 3) 東北工業大学よりシンポジウムの後援の依頼があり、11月2日開催のフィンランドのデザイン・教育・福祉の今、日本社会へのヒントと示唆 のシンポジウムの後援依頼です。特に問題がなく、賛成となりました。
- 4) 日本建築学会教育賞の推薦依頼について：何かありましたらご報告ください。
- 5) その他、新しい議題として、東日本大震災災害調査報告書の増刷について議論されました。100冊増刷と決定されました。

今後の予定について

10月5日に、第24回東北建築作品発表会が決定。

次回日程：9月の役員会、支所長会議については、未定でした。